

國家人類の爲に

椽の下の力持たれ

マスタール 星 一

凡そ、表面に現はれた大勢力は、裏面に隠れた大勢力の爲めに表面の大勢力たるを得るのである。地上幾千尺の大層高樓は地下幾千尺の隠れた基礎の爲めによく天上に聳え、史上に赫々たる英雄の偉業は、裏面に隠れた英雄の爲めによく絶大となる。如何なる偉人も如何なる英雄も皆頭は一つに手足は二本づゝしかない。故に其の一人て爲し得る仕事は大概高が知れてゐる。彼の驚天動地の大事業は彼の蔭に隠れた幾多の偉人、英雄が之れを成就せしむるのである。故に表面に立つて活動する人のみが事業を爲ると思つてはならない。其の事業の功績に對しては、蔭に隠れた無名の偉人、英雄にも感謝せねばならない。

日本では斯ういふ種類の人を黒幕と云つて卑しむ者もあるが、それは其の黒幕の人が餘り野心が強く、そうして蔭に隠れて常に何物

かを得やうとするからである。言ひ換へれば、世の非難を恐れて蔭に廻り、私利私慾の小刀細工を振り廻すからである。甚だ男らしくない行爲のやうに思はれるのも無理はない。然るに若し其の蔭に隠れた人にして、自から名譽を願はず利慾を欲せず、誠心誠意自己の職分を樂しんでゐるとしたら、其の人こそは陰徳の大なるものとして、自分は多大の尊敬を拂ふことを吝まさないのみならず、又た神の恩寵も定めて深いだらうと思ふ。自分は斯ういふ人物を憧憬して頃者米國にハウス大佐を得たのである。此の人の性行に就てはいづれ近々翻譯して日本に紹介するつもりであるが、彼は現にウキルソン

大統領の後盾となつて隠然政界に重きを爲し、而してウキルソン大統領のあの華々しい大活動は、凡て、ハウス大佐の後援に俟つてゐる。はなにかとさへ思はれてゐるのである。而かも彼れが政界に活動するのは決して或る野心に驅られた爲めではなく又た自分の私慾を満足さうが爲めでもない、唯だ國家人類の爲めに盡すに就て政界に活動し政策を行ふことそれ自身に大なる満足と報酬とを感じてゐるのである。

「一將功成つて萬骨枯る」といふのは、それは專制時代の暴君を評した言であつて、共同義務の念の旺んる今日では「一將功ならずんば萬骨枯る」といふべきである。

即ちこれを今日の米國に就て云へば大統領たるウキルソン氏の功成らずんば米國民一般に幅も利けなくなる。言ひ換へれば今日の米國民は米國民たるの理想を實現すべくウキルソン氏の成功を促して止まないのである。ハウス大佐の如きは偶々米國氣質の良い方を代表したものに過ぎない。

我が一般國民がハウス大佐の心事を以て椽の下の力持たれることに大なる意義を認め、而して國家人類の爲め自己の天職を勵むことに満足を感じるやうになつたらば各事業の發展と國家社會の向上とは期して俟つべきものがあらうと思ふ。蓋し斯くの如きは又「親切第一」の大なるものである。

婦人と勞働問題

(自由平等の思想)

小林高子

近頃は自由平等の思想がさかんになりまして又た勞働問題も八釜しくなりましてに就きまして斯ういふことを私共婦人にまで考へさせられるやうになりまして。

先づ勞働問題では與謝野晶子さんなんか方々の雑誌で以て聲を大きくして婦人の勞働を奨励して

居られます。これに對して、婦人は子を産み家庭を修めるといふ重大な任務があり又た體質が勞働に適してゐないから勞働で男子に對するの非常に不利であるとして反對される方も居られます。

勞働といふことを狭い意味に解釋いたしましたらば、私も婦人の勞働問題には未だ研究の餘地があらうと存じますが、歐米の婦人方が戰爭中男子の代りをつとめられた事實から考へますと、婦人は單に力業に適しないと云へ

ますだけのことで其の他の勞働には精進堪え得られるやうに思はれます。それに今日までの日本の婦人は一旦人妻になりますと奥様といふ名前と久しい因襲から何もしないで子供相手に遊ぶことを見榮えたいしました爲め、餘りに不生産的となつて居ります。いくらか男女同等と申しましても子を産む道具としか思はれません。此の分ではいつまで経つても婦人の地位が高まる氣遣はなく、又た家庭の繁昌も國家の向上も期し

がたいことであらうと存じます。ですからこれからの婦人は、家を修め子供を養育するにいがし時間を更にきりつめられるだけ切りつめて、そうして其時間を生産的のとに使ふやうにいたしましたならば、其時こそ男子對女子の問題や婦人の勞働時間制限等が世界的の問題ともなりませう。

斯うして婦人が人格的地位を高め婦人としての職分を十分に果しました時、そこに自由平等の光明が輝くことを信じます。